

# ならばい・たより

地元農家 行政 市民 三者協働による里山再生を目指します。

NPO法人 <sup>ゆいのさと</sup> まちだ結の里



6月からの活動、事象を時系列で記載していきます。

1) 6月4日(土)

本谷戸の代掻き、状況を見て、東谷戸の代掻き

ムギの刈取り、今日はイベント用 イベントスタジオの展示物の作成準備 最終確認



イベント準備



ツチアケビの花



ウツボグサの花

- 2) 6月8日(水) 本谷戸・トトキ谷戸および東谷戸の田んぼの代かき  
南つくしの小学校生徒受け入れ準備 来訪日：6月9日(木) PM



苗取り



ツチアケビの花

- 3) 6月10日(金) 苗取り  
4) 6月11日(土) 田植え 本谷戸・トトキ谷戸の田植え  
5) 6月12日(日) 田植え 東谷戸の田んぼ(合計8枚)の田植え



苗取り 後ろで田植え



古代米の田植え

- 6) 6月15日(水) 麦刈り 萌芽更新林の手入れ 草刈り 花暦調査 ジャガイモの収穫  
7) 6月17日(金) イベントスタジオ展示の撤収  
8) 6月18日(土) 早苗饗、田植えイベント 田植えイベント参加3家族  
6月22日(水) 雨のため、有志の田んぼ(東谷戸含む)、畑、通路の見回り及びクラブハウスでのフリーディスカッション後、11時30分には解散  
9) 6月25日(土) 総会  
10) 6月29日(水) 小麦の脱穀、本谷戸及びトトキ谷戸の田まわり(水口調整、水漏れチェック) 草刈り  
11) 7月2日(土) 田の草取り サツマイモ畑の土よせ 刈り払機の安全講習

本日より暑さ対策として試験的に作業時間を8時45分開始、午前中で終了としました。遅れた方など当日の参加者や作業内容を出来るだけ参加者全員で確認・徹底するために、今まで通り、9時45分に再集合しミーティングをする



刈り払機の安全講習



田の草取り



オトギリソウ

- 12) 7月6日(水) ジャガイモの収穫 第一梅林～第三梅林の草刈り  
追加でネギ・トウモロコシ畑の草取り、本谷戸の田んぼの上のため池から山側の水路周辺の草刈り及び

水路の整備



オトギリソウ



落花生の花

- 1 3) 6月9日(土) 東谷戸の田んぼの草取り、畔の草取り、草の片づけ、中央通路の草刈り  
追加作業、炭焼窯及び炭焼き小屋周辺の草刈り、サツマイモの苗(紅はるか70本)の植付け(追加植え付け分)
- 1 4) 7月13日(水) サツマイモ畑の草取り・苗の植付け、キーウイ畑の草刈り  
炭焼き小屋奥(中央通路に沿って)の広場の草刈り、富士見台斜面の草刈り、ゴマの苗の補植



- 1 5) 7月16日(土) 第一梅林の通路側斜面の草刈り、ネムノキ広場及び通路周辺の草刈り  
刈払機の操作講習



ヤマユリの花

- 1 6) 7月20日(水) 落花生畑の草取り、ネムノキ広場上の畑2枚に樹木チップ撒き・耕起、藁切り(細かくして畑に撒く)、北通路の草刈り、人参用畑作り・堆肥撒き、サツマイモ畑に細かく切った藁撒き



17) 7月23日(土) 東谷戸の田んぼの草取り、第一梅林の草刈り、イヌザクラ広場周辺の草刈り  
本谷戸の田んぼの畔の草刈り

18) 7月27日(水) 東通路の草刈り、南通路の草刈り、中央通路の草刈り、人参の種まき、イヌザクラ奥の畑の周りの通路の草刈り、



中央通路草刈り



ニンジンの種まき



畑の周りの草刈り

19) 7月30日(土) 田んぼの草取り、田んぼ周辺の草の片づけ・処分、セイタカアワダチソウ駆除&草刈り  
手もみ, 発酵, 乾燥の手順で作業を進める。

20) 7月31日(日) 水生動物調査観察会

<たがやす>のメンバー 大人12名 子供14名



オニヤンマの産卵

21) 8月3日(水) 落花生畑のネット張り、孟宗竹林内部・広場及び周辺の草刈り、南通路の草刈り

22) 8月6日(土) シイタケ原木の天地返し、真竹林の下草刈り、セイタカアワダチソウ駆除、イヌザクラ広場及び周辺の刈り取った草を集め処分、イヌザクラ広場奥の畑周辺及び草地の草刈り

23) 8月10日(水) 畑の草刈り(イヌザクラ広場の奥)、刈り取った草を集め処分、草木の処分が出た灰を畑に撒く、ニンジン畑水まき、クラブハウスに葦簀張り、暑気払いの準備

24) 8月17日(水) イヌザクラ広場上の通路及び通路下の斜面の草刈り、花暦調査

25) 8月20日(土) 刈り払い機の整備、田周辺草刈

26) 8月21日(日) 植物調査観察会報告

ツリガネニンジン、ワレモコウ、ヤマホトトギス、アキノノゲシなど秋の花が咲き揃い谷戸は秋の気配です。  
本谷戸下水路：コシロネ開花中、 切り通し山側：マキエハギ開花中、 切り通し谷側：カワラケツメイ開花中、  
谷戸奥林縁：タマアジサイ、ママコノシリヌグイ、ツルニンジン開花中、谷戸最奥草原：オオヒナノウ

スツボが数株出現し立派な花をつけている、 谷戸奥林縁：トモエソウ、ヤマニガナの確認（今年出現した植物）、 シイタケほだ場で内野さんがムカゴサイシン（ラン科）らしき葉を発見 来年が楽しみです

27) 8月24日（水）イヌザクラ広場上の通路及び通路下の斜面の草刈り、落花生畑の草取り、トトキ谷戸の第一梅林側の斜面の整備、

28) 8月27日（土）畦の草刈、以前刈り取った草の処分



そばの芽が出ていました

オモダカの花

29) 8月31日（水）梅の選定、萩の刈り払い

刈り払いの帰りに尻尾の見えるネズミが畑のあたりで飛び跳ねていたそうです。

ハタネズミではあまり尻尾が目立たないのでカヤネズミかなと勝手に考えています、ほかにアカネズミの可能性もあると指摘がありました、やはりしっかり観察しないとわからないですね。



30) 気になる言葉の意味を調べてみました。（間違い等ありましたら指摘願います。）

① 木元竹先（キモトタケサキ）、インターネットで調べたら「木元竹末（きもとたけうら）」

「うら」は「末」で先の方の意味だそうですが、キモトタケサキの方がわかりやすそう。

この意味は「木材は根に近い方から、竹材は逆に先端に近い方から刃物を入れるときれいに割れるということ。」まきを割るとき、竹を割るときにたまに言って確認しています。

同じくインターネットでは「木や竹を細工する場合の刃物の使い方の順序を指すことわざであり、木工や竹工の世界では実際的な言葉です。木材を加工する場合は木の元（根っこ側）から刃物を入れないと、木の性質上、

木肌を痛めることとなります。また、竹を割る場合は竹の先端側（末・ウラ）から根っこ（元・モト）に向けて包丁を入れないと、ヒゴ取りなどがうまくできません。昔からの言い伝えに逆らって木や竹を細工しますと、材料の出来栄が悪くなります。木も竹も順目と逆目（さかめ）があります。竹の場合はウラから包丁を入れた方がよいのは何故か、よく分かりませんでした。先日竹山（孟宗）の手入れのついでに竹の生育状況や繊維の状態を観察していくうちに、木の場合と竹の場合とでは細工の仕方や繊維の性質が違う（竹の皮の近くの繊維はウラの方から元へ向かって節の部分に潜り込んでいる）からではないか、と考えるようになりました。」  
[http://take-ikeda.cocolog-nifty.com/blog/2008/05/post\\_e0a5.html](http://take-ikeda.cocolog-nifty.com/blog/2008/05/post_e0a5.html) 参考まで。

### ② 塩水選 良いタネモミと悪いタネモミを選別する方法

充実したタネモミを選別することで塩水選に使う比重液は、うるち 1.13、もち 1.08 です。  
うるちの場合水 20L に対し塩約 5Kg、餅の場合水 20L に対し塩約 2.9Kg 浮いたタネモミは廃棄する。  
選別後、塩を洗い落とすため水洗いを行う。奈良ばいでは、もち米なので比重 1.08 で実施しています。  
塩水選後は、ばか苗病、いもち病、イネシンガレセンチュウ等を防止する効果があるとされている温湯消毒を行う、60℃の温湯に 10分つけすぐに冷水でさます。  
その後、タネモミを水につけて芽だしを行う、積算温度 100℃を目安に水を取り替えて管理していく。  
タネモミはその重さの 25%の水を吸収し、酸素も必要とするので水替えは重要な作業です。

### ③ 中干し、花水

なかぼし（中干し）最高分けつ期のころに 5～7 日落水して土を干すことを言います。  
そのことによって、土の中に酸素を供給し、根を健全にする。無効分けつの発生を抑える。  
このような効果があるとされていますが、栄養成長から生殖成長へ変化するというのもいわれている。  
はなみず（花水）出穂、開花後に田んぼに水をたたえることを言います。



出穂 8 月 10 日撮影  
通常はこのころ開花する

開花  
古代米  
9 月 11 日撮影



### ④ 分けつ(分蘖) イネ科農作物の地際に形成される側枝。また側枝の形成される現象を示す用語で、

稲の根元付近から伸びた新芽を蘖（ひこばえ）と言います、蘖が伸びて**株が増える事**を分蘖と言う。  
親茎（主茎、主稈という）から枝芽が一本ずつ出てきます。これを一次分けつと言います。さらに、一次分けつの節からも孫分けつ（二次分けつ）がでてきます。一本から 7～8 本の分けつが出る、このころが最高分けつと言われるようです。



1本で植た田んぼに出てきた分けつの状況

出てきた分けつの本数には違いがある。

漢字の意味を調べていかに記載します。

藪 音読みが「ゲツ」、訓読み「ひこばえ」

意味 【「孫(ひこ)生え」の意】

樹木の切り株や根元から群がり生える若芽。又生え。

同じような意味の漢字に 子(ゲツ)これも「ひこばえ」意味 のこり。刈りのこり。また、滅びた一族の残党  
ゲツは 途中で切る、刈り取るの意を含む。

#### ⑤ バカボウ

インターネットで調べると、建築関係の言葉としてたくさん出ていました。

農業で使っていた言葉が建築関係で使われるようになったのか、建築関係で使用していた言葉が農業で使われるようになったのかよくわかりません。

しかし、使われている意味、理由は同じでした。

「同じ長さを何か所にも記すときなどに用いる、必要な長さに切断した棒。

馬鹿棒を用いれば、誰でも同じ長さにはかれることからきた名前と思われる。」

驚くのは建築関係ではいろいろな場所で利用されていることです。

掘削などの深さを測る、構造物の寸法を出す、ワイレベルとばか棒につけたしるしで水平を出すやり方などがあるだけでなく、「マイゾックス バカボー君 3m×3段」「タジマ パーフェクトスーパー如意棒」などという製品がアマゾン売られていました。

こんなに使われている言葉ということを初めて確認できました。

奈良ばいでも深さは使っていませんでしたが、物を同じ長さにそろえる、タネモミの上にかぶせる土の深さを一定にするためなどに使っていました。

結構便利な棒だったのでですね。

3 1) 依頼され確保していたいたカラムシのその後

## カラムシ (イラクサ科の多年草)

奈良ばい谷戸に自生  
2016年8月撮影



(材料は奈良ばい谷戸です。2016年7月、東京都埋蔵文化財センターの方が来訪され、刈取り持ち帰り作成されたものです。)

- ・日本では昔から、アサ科の麻だけではなく、全ての茎葉の繊維製品を「麻」と称する習わしがある。
  - ・衣料品業界でも、「麻」の定義が全く異なる。「麻繊維衣類品」を買うとき、「麻」の表記があるものは、当然、「アサ科の麻」と思っている人が多いのではなかろうか。
  - ・ところが、日本国内では、家庭用品品質表示法で「麻」と表示することが認められているのは、亜麻(あま・アマ科・リネン)と苧麻(ちょま=からむし・イラクサ科・ラミー)の2種類のみ。従って、「麻製品」と表示されていてもアサ科の大麻繊維製品ではない。
- 本来の麻(大麻・ヘンプ)は、「指定外繊維(大麻)」や「指定外繊維(ヘンプ)」などと表記しなければならない。
- ・また、次の植物製品も、アサ科ではないが「麻」と称されている。
- マニラ麻(バショウ科)やサイザル麻(リュウゼツラン科)は船舶用ロープとして用いられ、コウマ(シナノキ科)やジュート(シマツナソ)はいわゆる麻袋を作るのに使われている。
- ・麻生区名の麻も、苧麻(からむし)の麻を指すと言われている。

東京都埋蔵文化財センターでの、製品加工工程です。



(Rpt: Iwakami)

### 3 2) 町田の湧水

#### 1. 湧水とは

降った雨や雪は、長い時間をかけていろいろな地層を通り、自然にろ過されて地下水となります。その地下水が地表に自然に出てきた水のことを「湧水」と言います。

参考

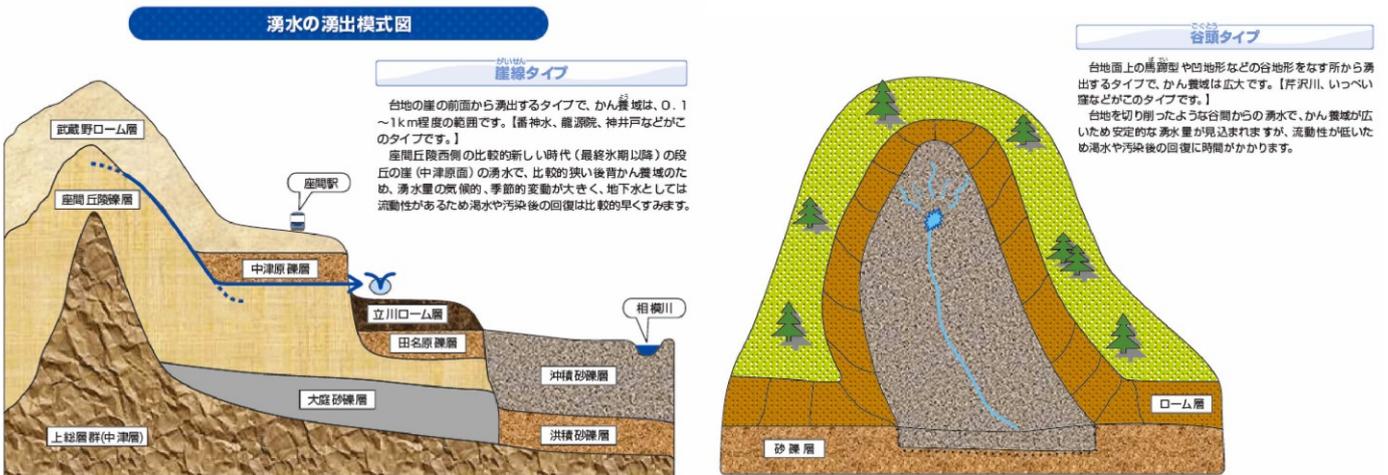
日本の湧水：環境省選定名水 100 選をご覧ください

東京の湧水：東京の名湧水 57 選（東京都剪定）には町田の湧水は記載されていません。

#### 2. 湧水のしくみ

地表に染み込んだ雨水や雪解け水は、地下深くの砂や小石などが詰まった地層へと浸透します。ここまで浸透した地下水は、水を通しにくい地層の上を高い位置から低い位置に向かって移動していきます。そして、段丘崖などの地層が露出している部分から湧き出します。

湧き水は、湧出の形態から台地の端にある崖線に沿った所(崖線タイプ)、台地上の馬蹄形や凹地形など谷地形を呈した所(谷頭タイプ)、丘陵地では谷戸地形を形成している所(谷戸タイプ)の三つに分けることができます。



(座間市の資料をコピーしました)

#### 3. 町田の湧水

P 4、町田の低地と湧水：活動範囲を主に記載を参照

谷頭タイプ？：忠生公園、滝の沢源流公園、清水児童遊園、本町田緑地そば住宅地、芹が谷公園、原町田2丁目崖下、

谷戸タイプ：その他町田の殆どの谷戸（・・・東、奈良ばい、神明、五反田、白山、万松寺・・・）

#### 主な町田の湧水

忠生公園湧水 主な湧水か所は5か所、月間湧水量 2,200 m<sup>3</sup>（18年間測定の前平均値）、水温 15℃～17℃



源流の池上部



山のかみち下（がにやら屋敷跡上）



忠生公園大橋下

滝の沢源流公園 あらゆる方向から水が湧いている、月間湧水量 7,000 m<sup>3</sup>（上記に同じ）、水温 15℃～17℃  
湧水上部に今も、東京都水道局の「木曾1号水源」＝井戸が稼働している



1998年の河床からの湧水、今は公園が出来た為見られない

現在

暗渠になった部分（住宅擁壁裏）からの湧水

本町田児童遊園



すぐ脇にも崖からU字側溝への流入がある

本町田緑地そば民家下



住宅地の崖途中から樋で導いている

芹が谷公園



小田急線下



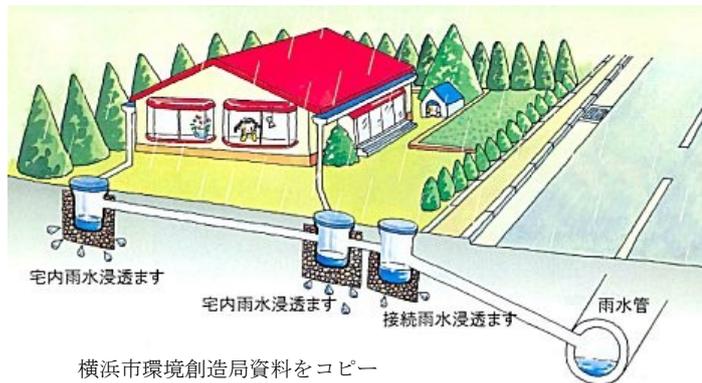
元東京都水道局「原町田水源」脇



4. 湧水を守るには

身近に出来ること

その1：雨水浸透ますの設置（雨樋から地中へ）



その2：雨水タンクを設置（雨水利用）



我が家の雨水タンク設置状況

その3：雨水浸透能力を増す様、家の周囲の緑化



我が家ではリュウノヒゲを三方植えている

努力して出来ること

その1：田んぼを作ること（稲作＝田んぼは貯水池）



働きかけで出来ること

- 新たな開発を少なくする（山林・樹林地・農地等を宅地化せず保全に努める）
- コンクリート舗装等を極力やめる（雨水の浸透性の良いものとする）
- 増改築時には、雨水浸透枡・雨水タンクを設置する

その4：駐車スペース等を浸透性の良いもので舗装する（写真は砂利舗装）



その2：里山を復元すること



5. その他

雨水浸透能力（東京都緑の東京計画他より）

自然草地：150mm/h 人口草地：110 mm/h 畑：100mm/h 広葉樹林帯：270mm/h 針葉樹林帯：260mm/h

雨を蓄える能力（森林総合研究所資料より）

雑木林：地下へ浸透	35%	表面流失	25%	蒸発	25%	木が吸収	15%
裸地：地下へ浸透	5%	表面流失	55%	蒸発	45%		

6. 結びに

水の循環に微力をささげたい！

私たちが水資源として利用できる淡水は地球上の全水量のわずか0.8%です。水循環から考える場合、海から蒸発した大気中の水蒸気は、雨や雪となって地上に降り注ぎ、その水の多くは河川水として海に流出し、一部は蒸発して大気に戻ります。このように水は地球上を絶え間なく循環しています。

地下水も水循環の一つとなっています。私たちが里山の保全活動を通して広葉樹林を手入れし、田畑を作ることにより地下に雨水が浸透するよう一層の努力をすることが大事と考えます。

2016年8月 樋渡